

いたずら仲間の

悪友に告白したら

デレデレになった





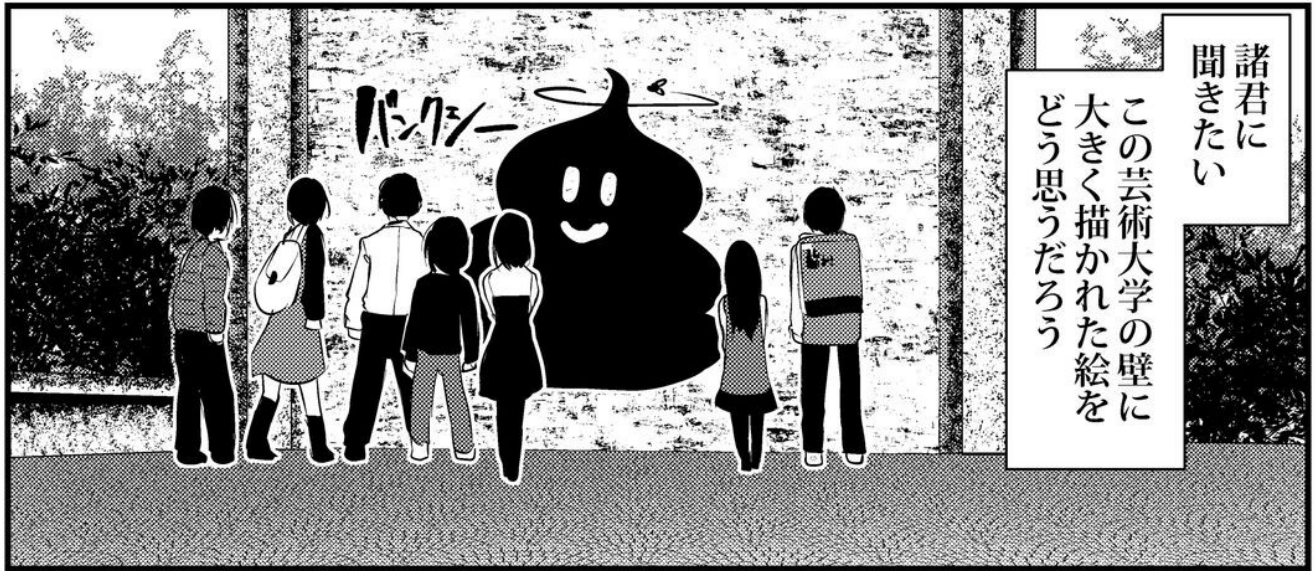
いたずら仲間の

悪友に告白したら

デレデレになった









これを消すか
消さないか

それがこの
芸術大学の
真価が問われる
ポイントなんだよ

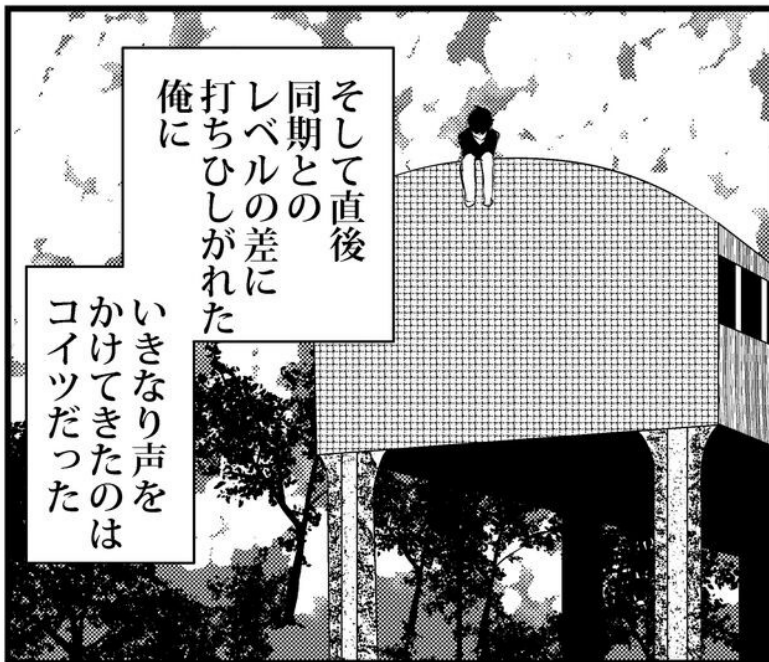
この邪悪な
悪戯小僧のような
笑みを浮かべる人物



コイツは
俺の「悪友」だ

言わずもがな
絵は俺と
コイツで描いた

悪戯コンビ
というわけだ



そして直後
同期との
レベルの差に
打ちひしがれた
俺に

いきなり声を
かけてきたのは
コイツだった



コイツとの
出会いを
簡単に説明しよう

期待に
胸膨らませた
入学当初



お前
良い顔を
してるなあ……



おおかた
自分の実力の無さに
自暴自棄に
なってる顔だ

まったく
初対面から
失礼な奴だった



ここからなら
よく見えるな

ルネサンス期から
続く芸術の神秘性に
包まれて



この
ぬくぬとした
芸術学という
空気感の中に入れば

自分も
特別な人間なんだと
安心している
愚かな学生が何人も……

絵がうまく描ける？
センスなんて
曖昧なものが
特出している？

そんなもの
世界中の芸術学生が
普遍的に持っている

そこに
アイデンティティを
誇っているなんて

矮小な価値観だと
思わねえか？

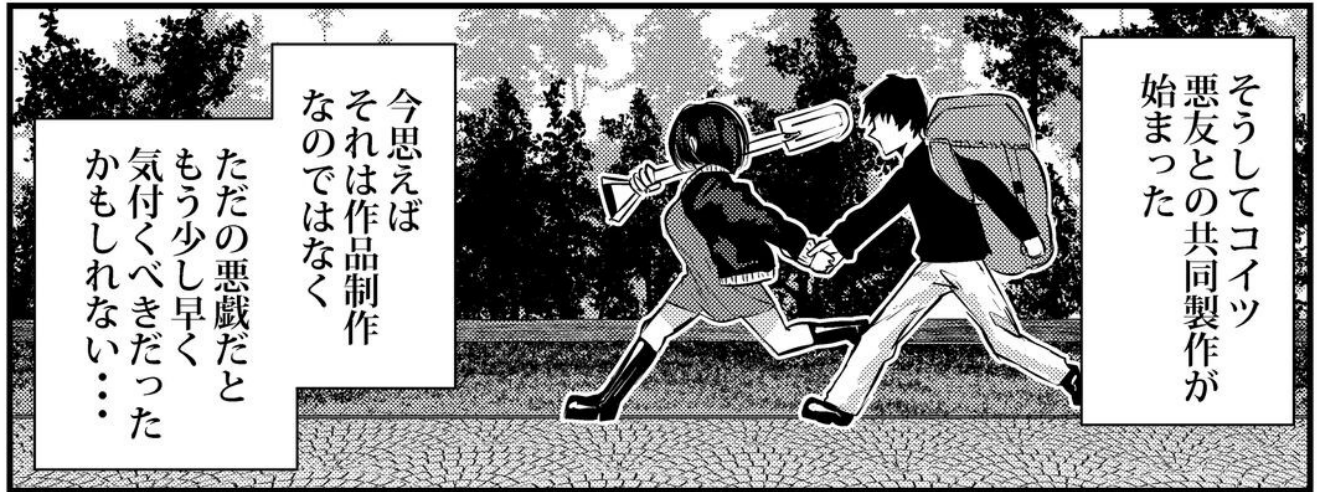
その言葉は

その時の
俺にとつては
耳に心地がいい
物だった

お前
俺と組まねえか？

勘違いしている
美手帳被れの
生徒たちに

本当の芸術を
見せ付けてやるんだ



そうしてコイツ
悪友との共同製作が
始まった

今思えば
それは作品制作
なのではなく

ただの悪戯だと
もう少し早く
気付くべきだった
かもしれない……



芝生を掘り起こして
巨人が歩いた痕跡
のようなものを
施工したりした



例えば
大学敷地内の
偉人の銅板彫刻に
メイド服を
着せたり



それらはすべて
この悪友の企画で
命令であり

それを実行するのは
専ら俺の役目だった

迷惑行為ギリギリの
芸術行為

それを
芸大関係者に
否定させる事で

芸術という
学問の薄っぺらさを
露呈させるといのが
悪友の持論だった



いやいや
傑作だったなあ！

あのギャラリーの
困惑した顔！

バンクシーなワケ
無えーのにな！！



ここは
俺のポロアパードだ

俺と悪友はこうして
作戦会議をするのが
日課になっていた



それでだ
次の企画を
考えた



あの大学は
真面目ちゃんが
多すぎんだよなあ

だから
からかい甲斐が
あるってかさ



アイツの愛用の
バットだ

このバットは
あの何て
名前だっけな

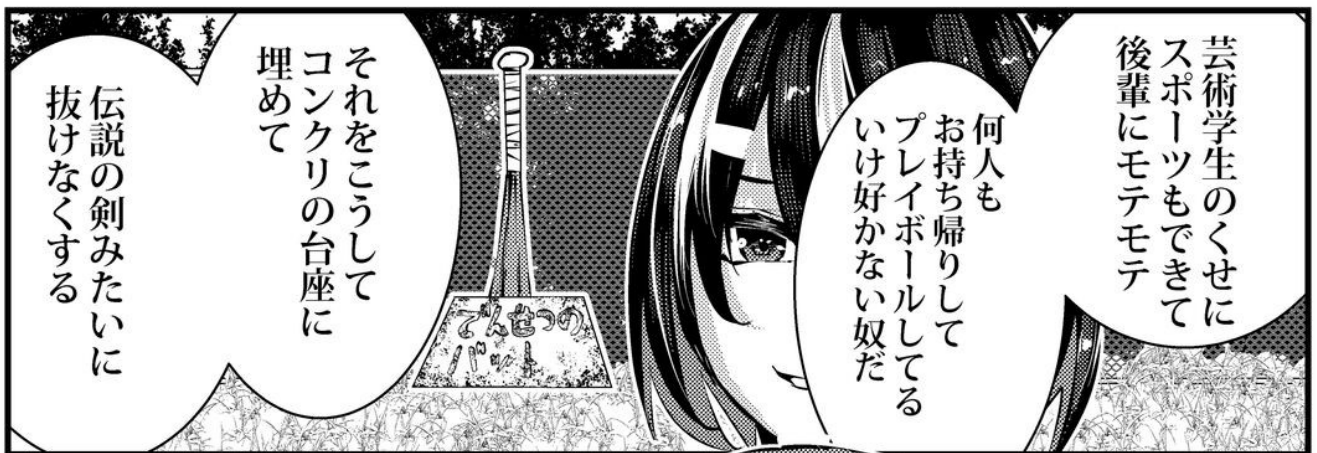
三年の野球部で
エースがいるだろ？



これだ！

ごんせつ
バット

何故か
悪友は企画書
というものを
本気で描かない



芸術学生のくせに
スポーツもできて
後輩にモテモテ

何人も
お持ち帰りして
プレイボールして
いけ好きな奴だ

それをこうして
コンクリの台座に
埋めて

伝説の剣みたいに
抜けなくする



材料はもう
搬入済みだから
あとは
野球部室の
鍵を壊す方法を…



面白いだろ？

出た
悪友特有の
邪悪スマイル



明日までに
考える！

おい
それは俺の
コーラだぞ

もう俺のだ



てな感じで
また明日もやるぞ！

分かったな！

いつも思うが
なんで俺なんだ
…？



ふふふ

お前しかいない
なんたって

俺とお前は
悪友だからな

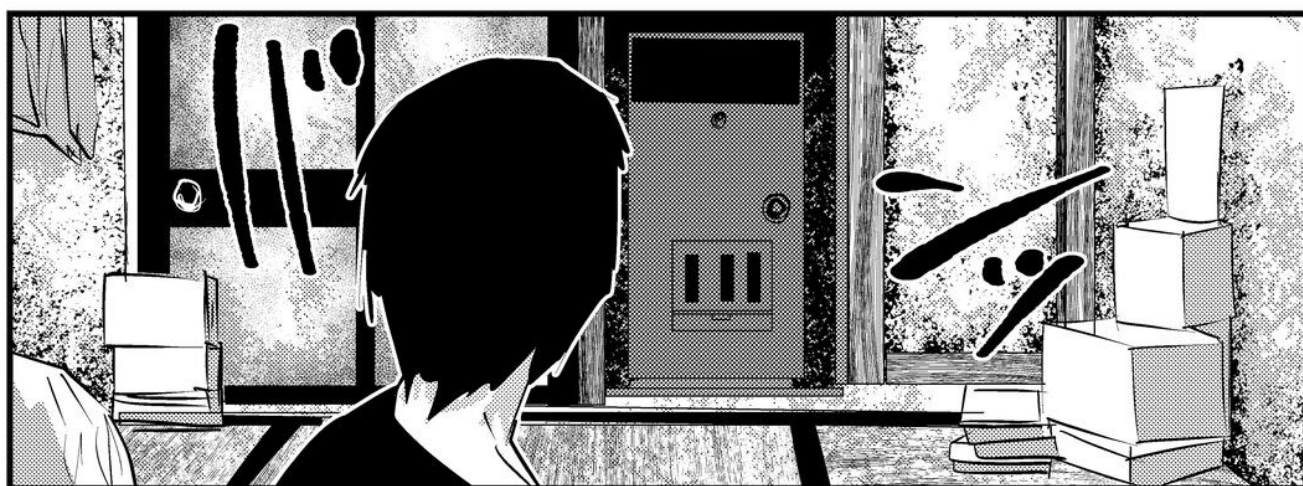
退学するのも
地獄に落ちるのも
一緒だからな♪



よし！

んじゃ
また明日！

ビビッて
トンスラ
すんなよ！



台風一過

この
汚い六畳間が
しんと静まり返る

残ったのは
飲みかけのコーラと
そして

アイツの
甘い香りだけ……

正直
たまんねーよ!!!



俺は…
アイツの事が
好きだ…
異性として

身を
焦がすほど

アイツがまた
新しい企画を
持ってくることに
毎回ワクワクする

無防備に
顔を近づけられると
心臓が跳ね上がる

だって…

あんなに
可愛いんだから

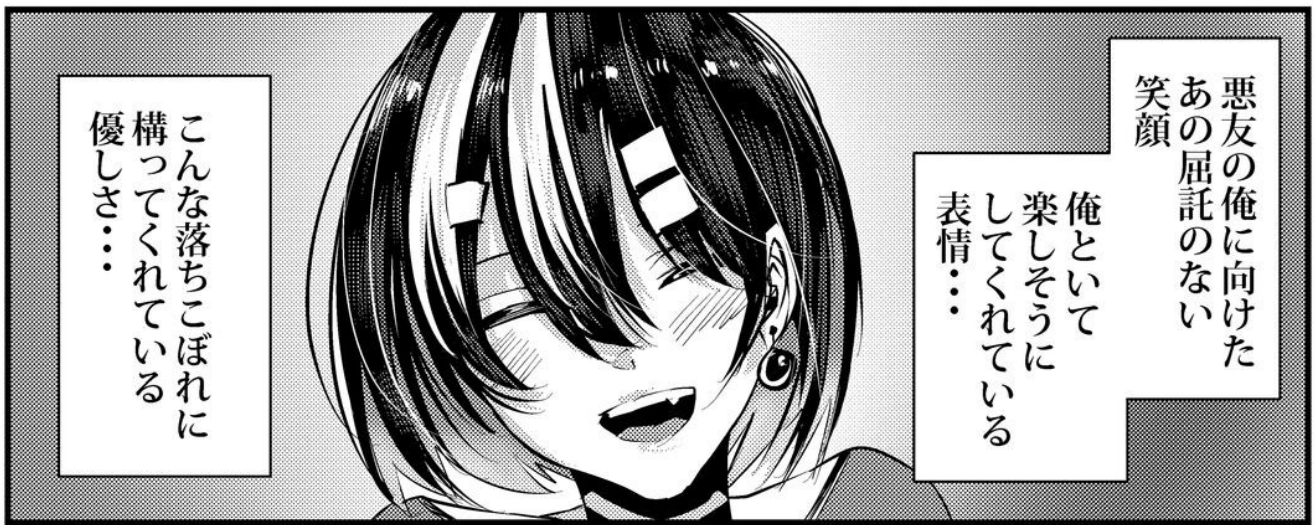




あんなに
可愛い子が
俺に構ってくれている

唯一の悪友だと
言ってくれている

毎日俺の
アパートに来て
無防備な姿で
楽しそうに
話してくれる



悪友の俺に向けた
あの屈託のない
笑顔

俺といて
楽しそうに
してくれている
表情……

こんな落ちこぼれに
構ってくれている
優しさ……



だから
俺は決めたんだ
明日アイツが来たら
告白しよう

玉砕しても

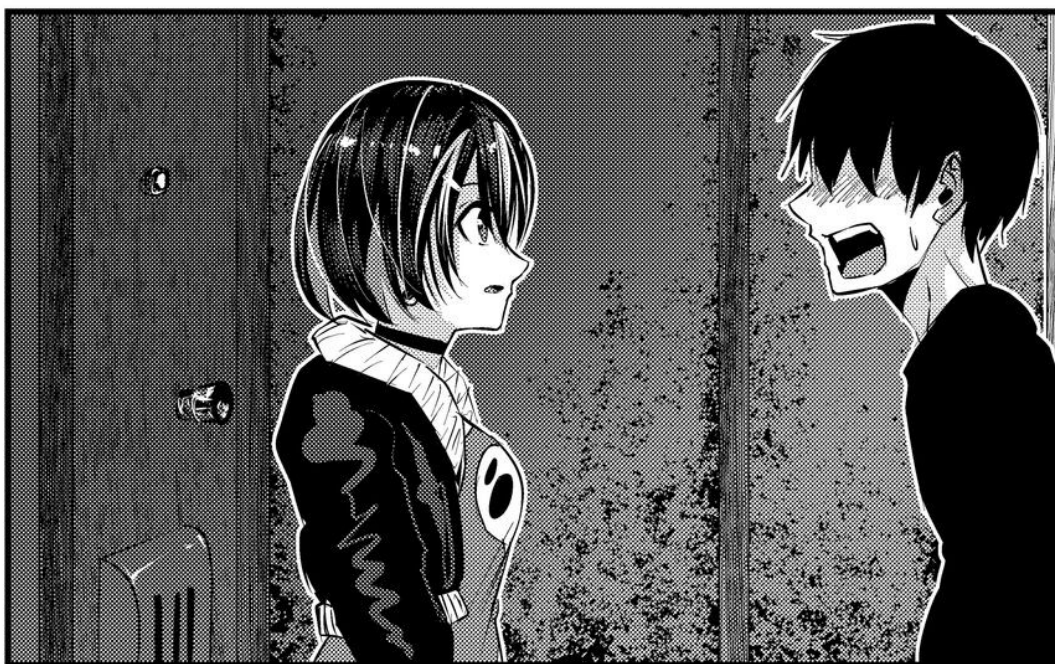
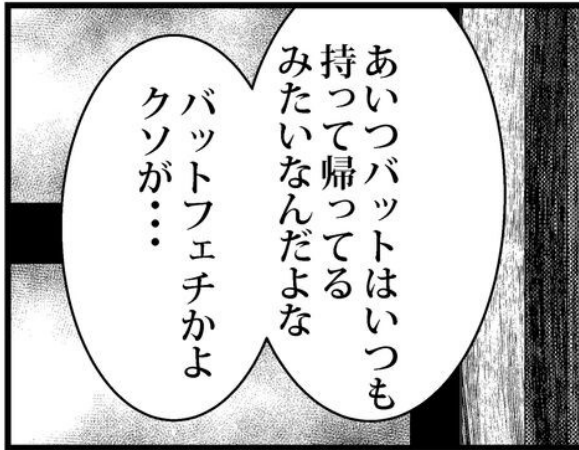
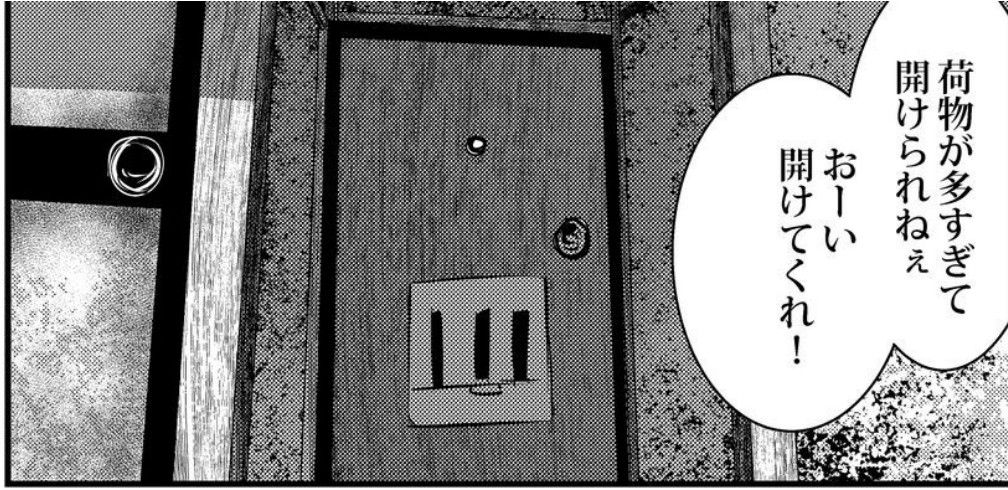
この気持ちを
そのままに
しておけない

だから……



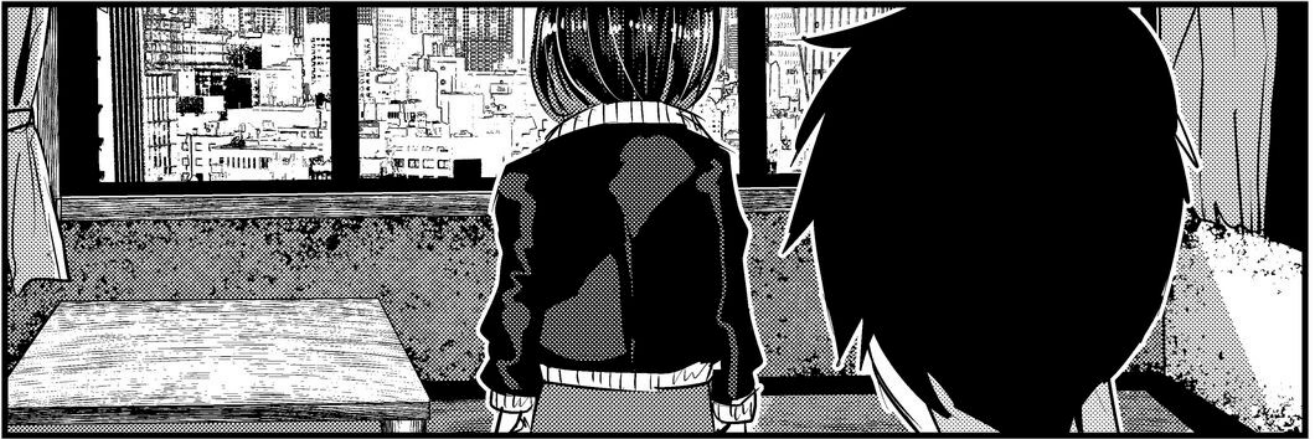
これで
好きにならない
方がおかしい

バツバツ











なんでこいつは
隣に座ってるんだ
...?

ん?



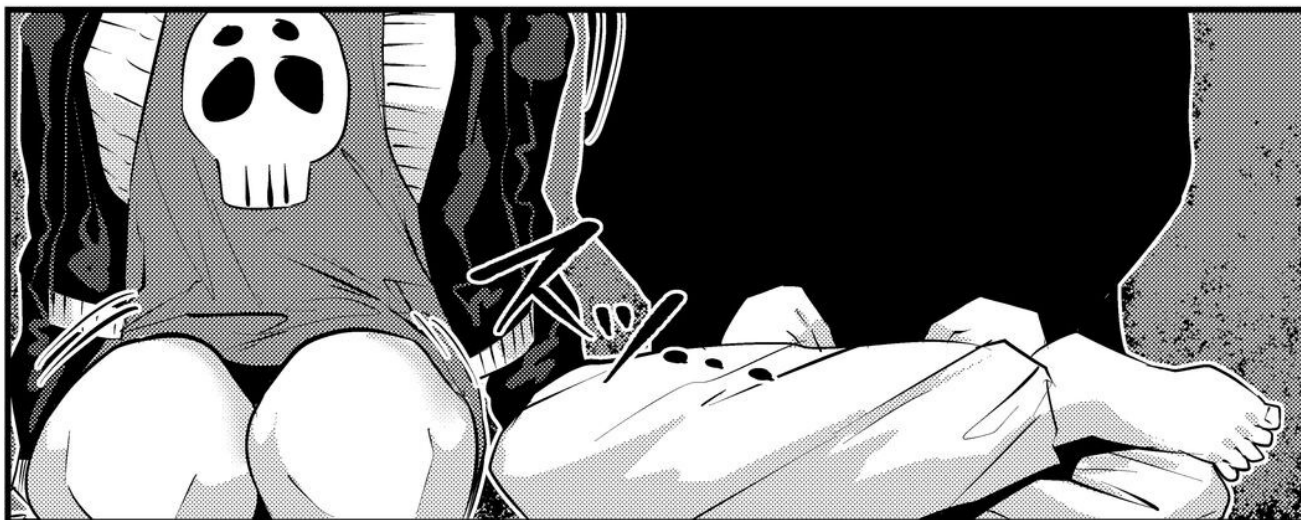
俺の飲みかけの
コーラを
一気飲み...?



あ...

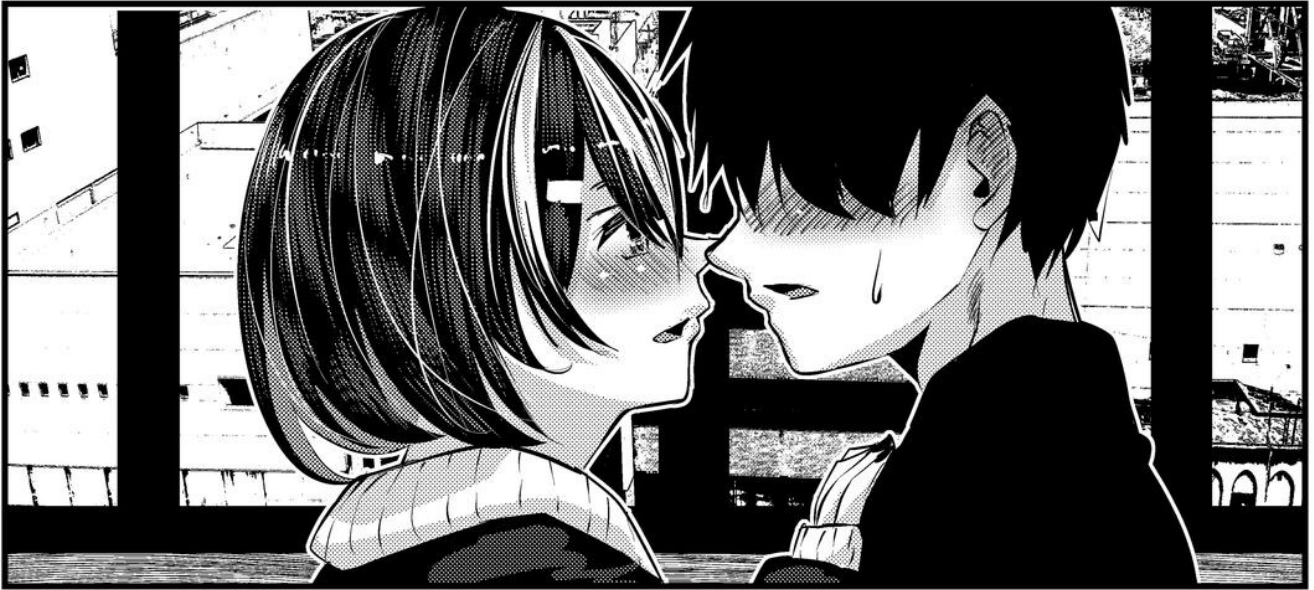


ぷはっ



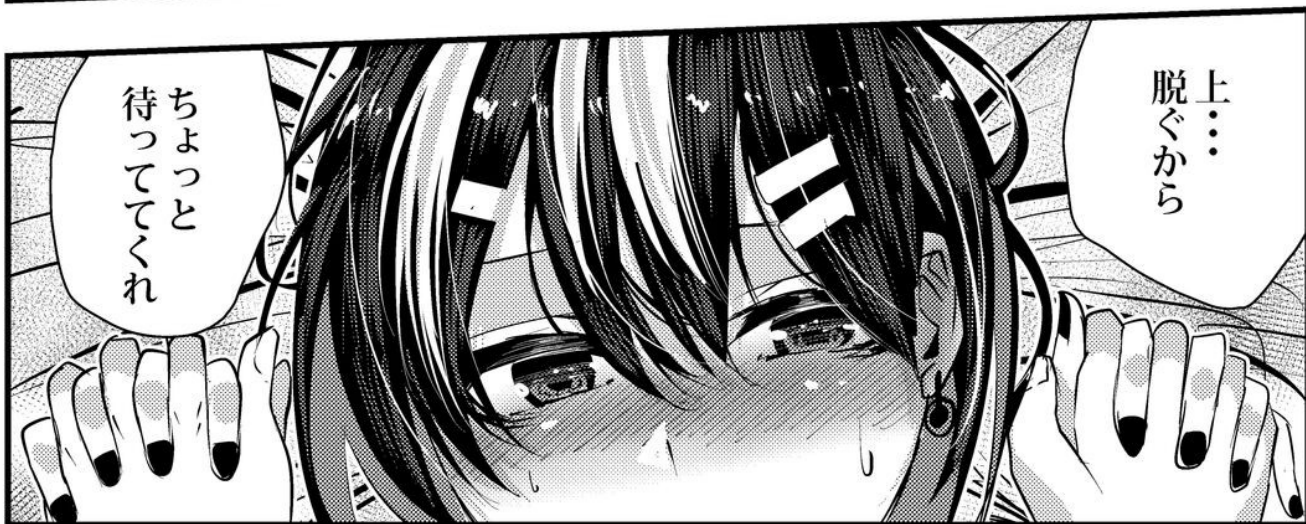
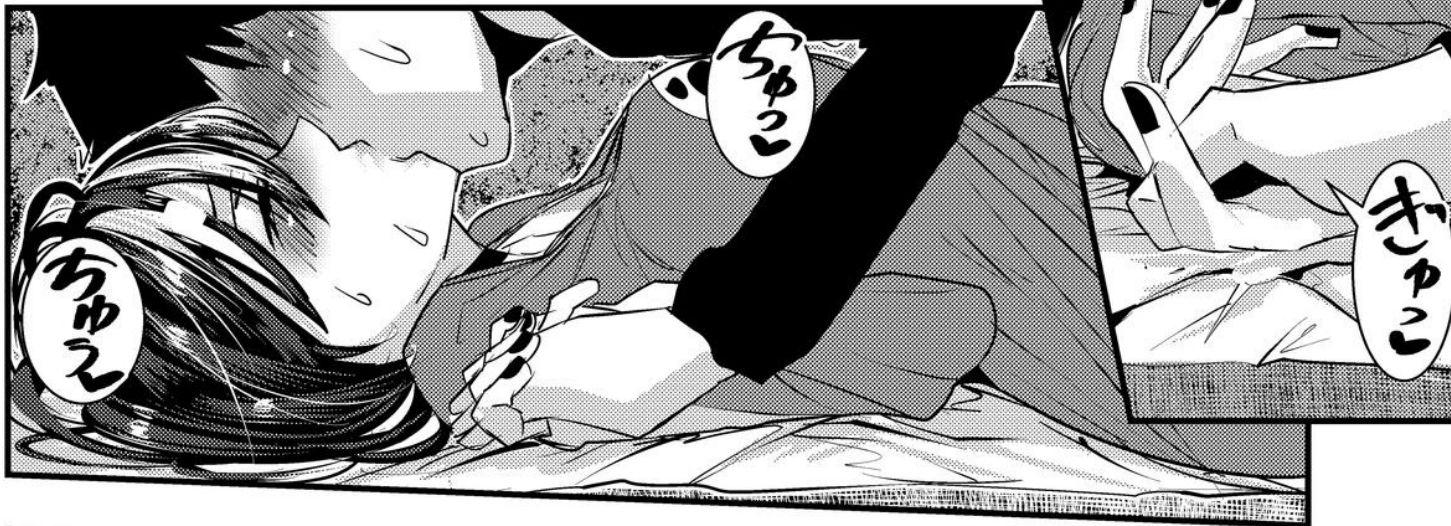














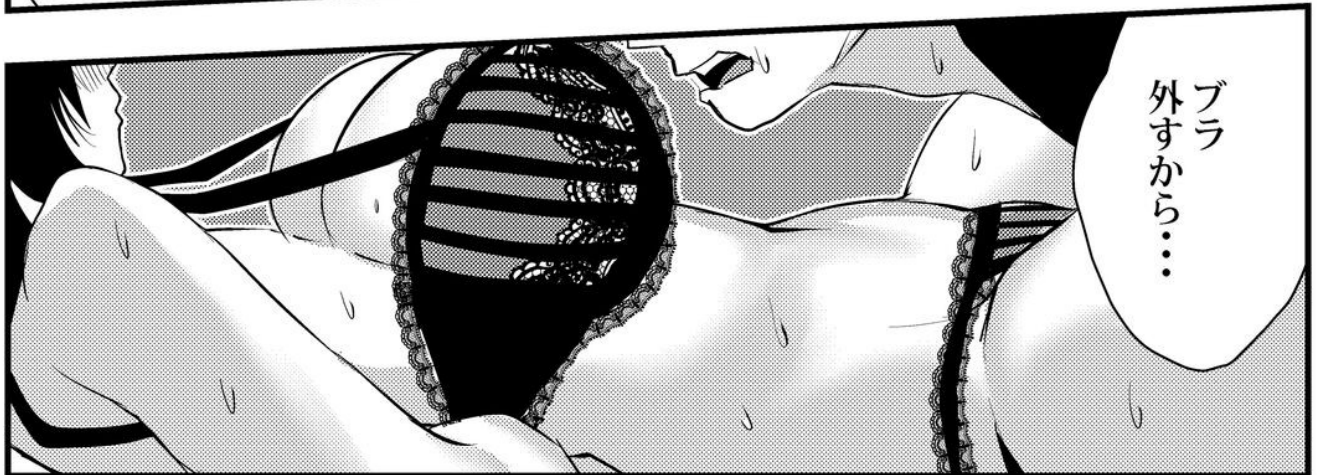
どう...だ？

誰にも
見せたこと
なくて...

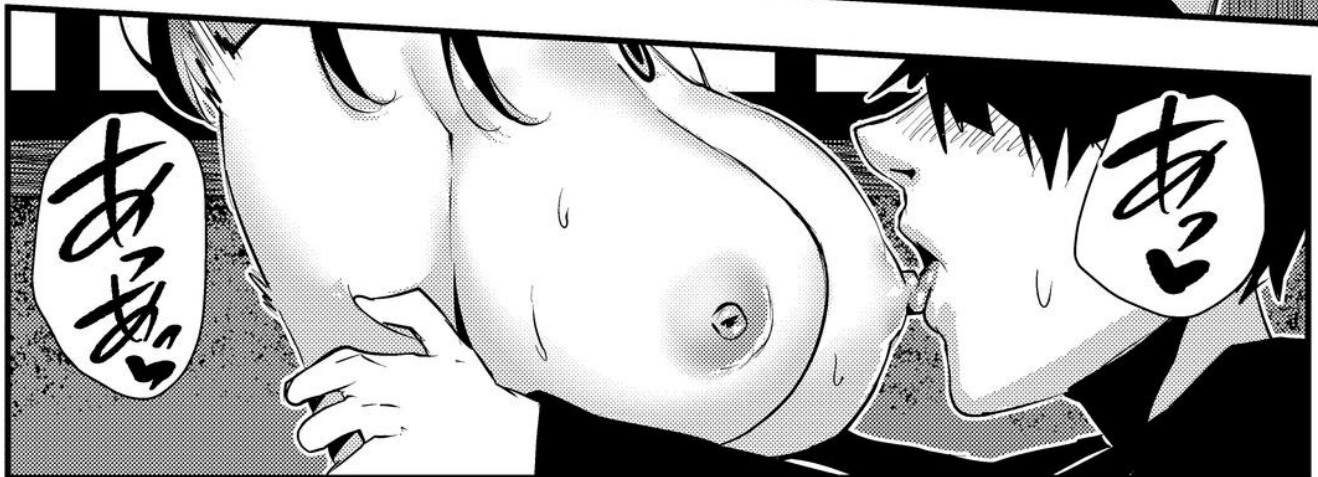
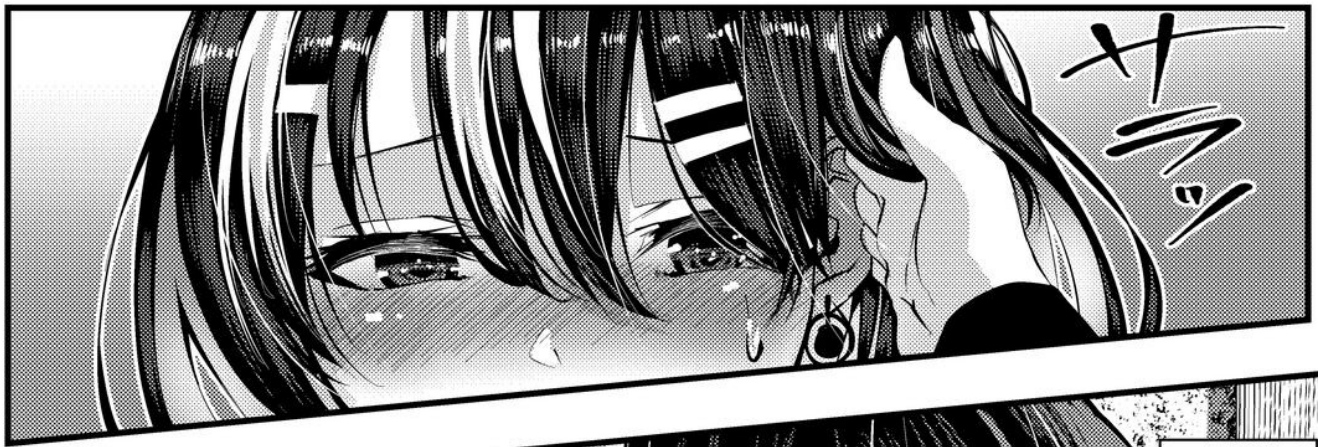


最高だ!!!

わ
る









赤ちゃん
みたいだな
お前...

まだ
吸っても
何もでないぞ
...

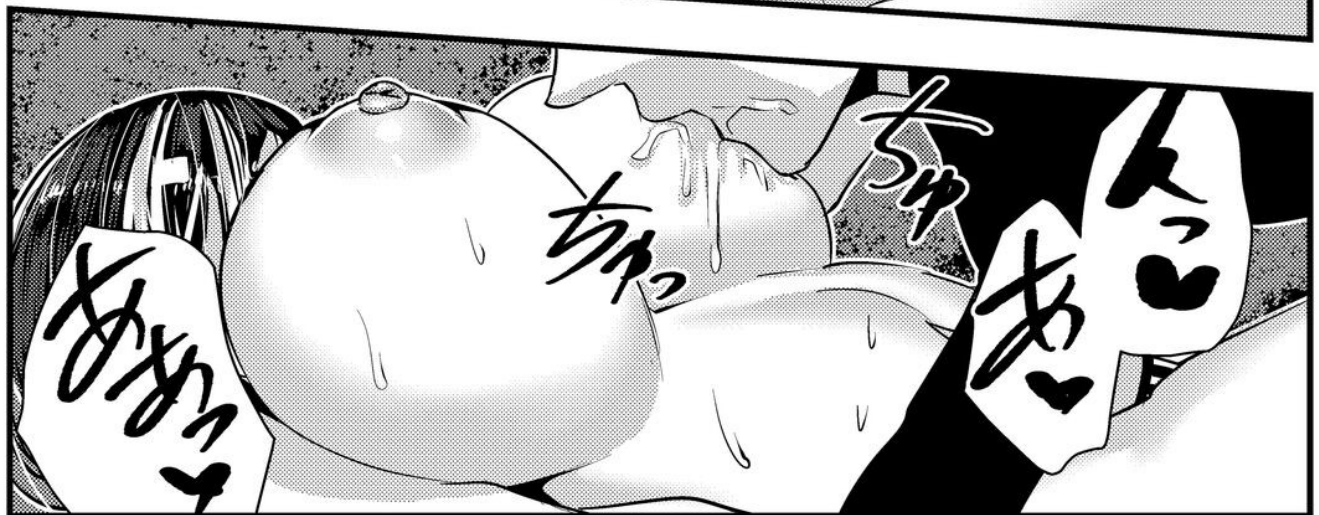


あ

あ

あ

あ

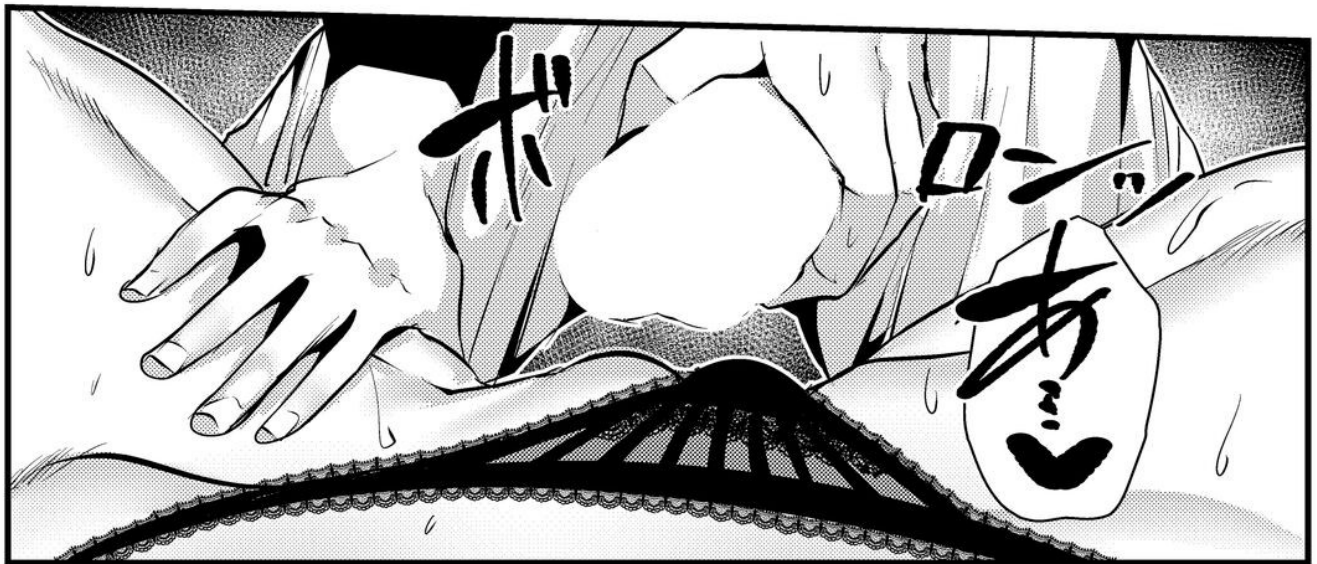


あ

あ

あ

あ



ほ…
ホントに
するのか…？

イヤか？

いや…
俺とお前は
悪友で…

一緒に
遊んだり
してて

仲良くなつて
それで…

男女の仲にも
友情つてモンが
あるつて
思つてたけど…

……っ

あ…♡

はい♡

っ♡♡♡



おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ



悪友と…
セックス
しちゃった…

流れだった
とはいえ

悪友は
嫌がって
イヤじゃ
無かったか…？



…動く前に

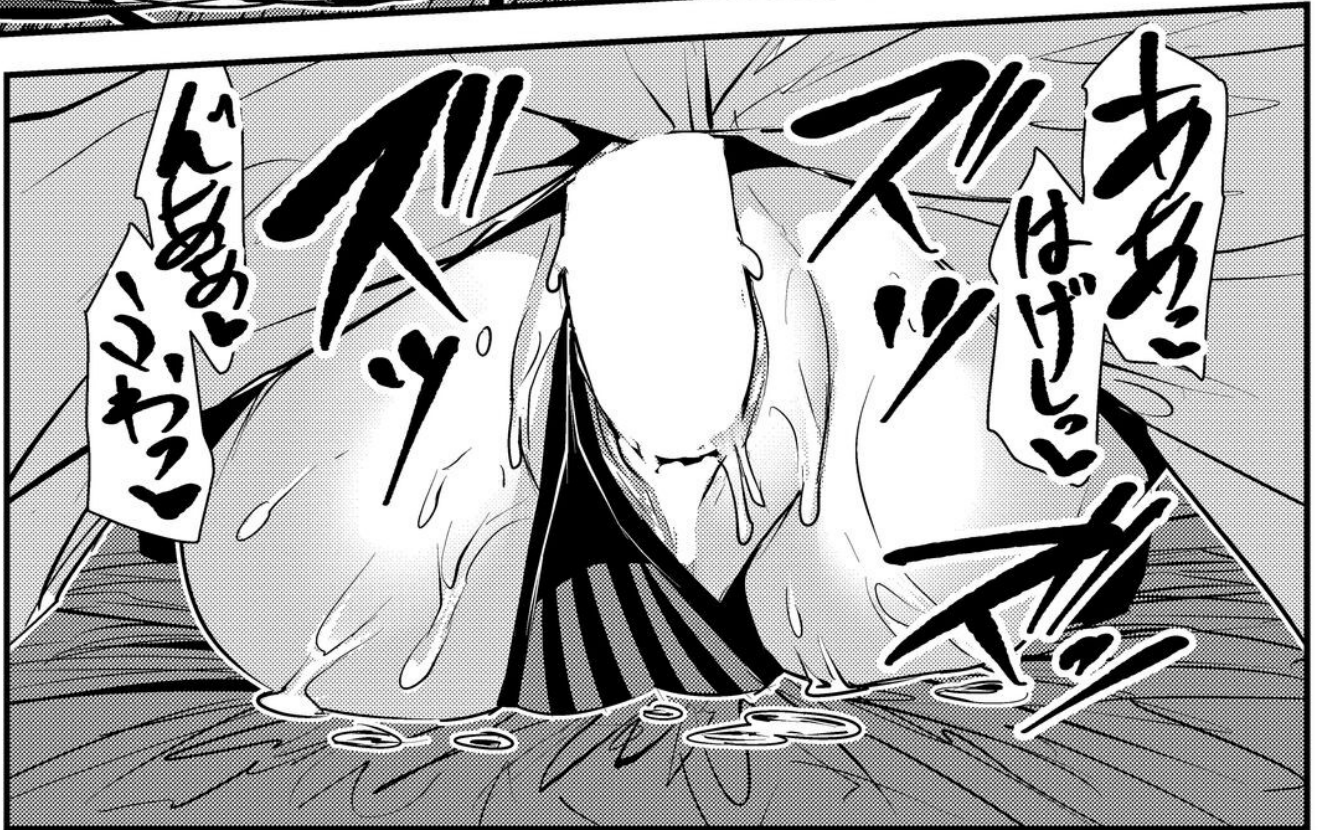
ぎゅーって…

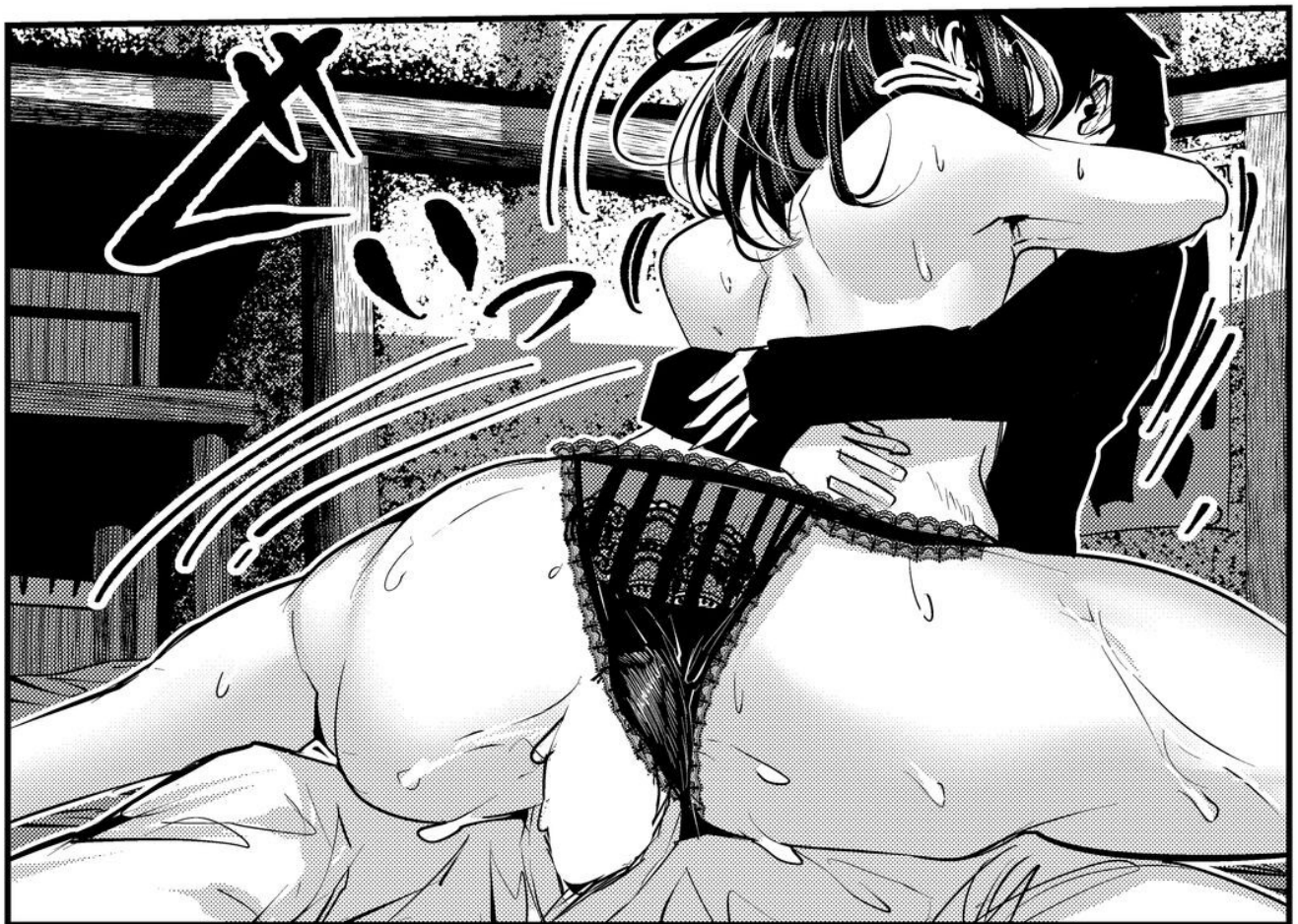
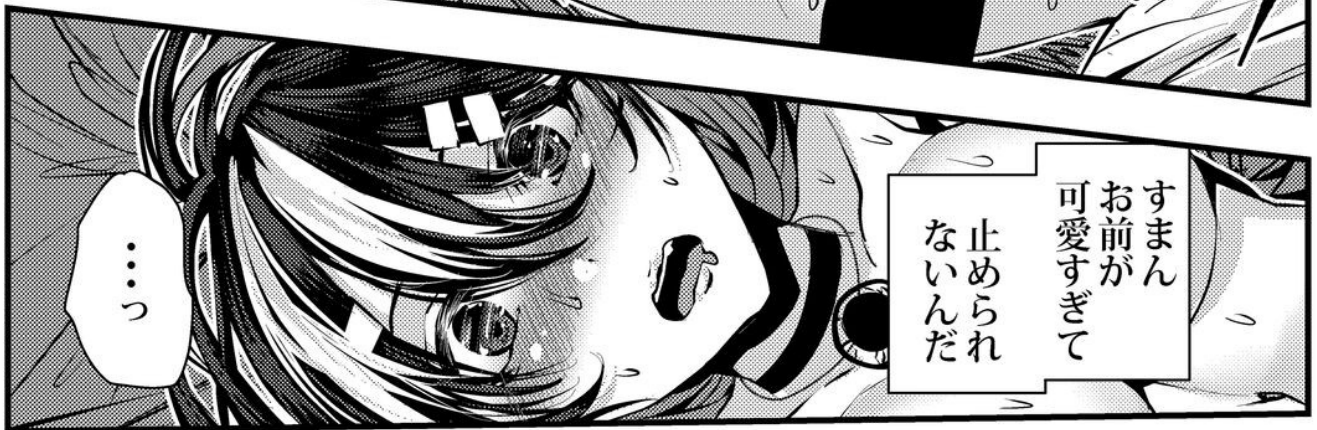
抱きしめて
くれ…っ

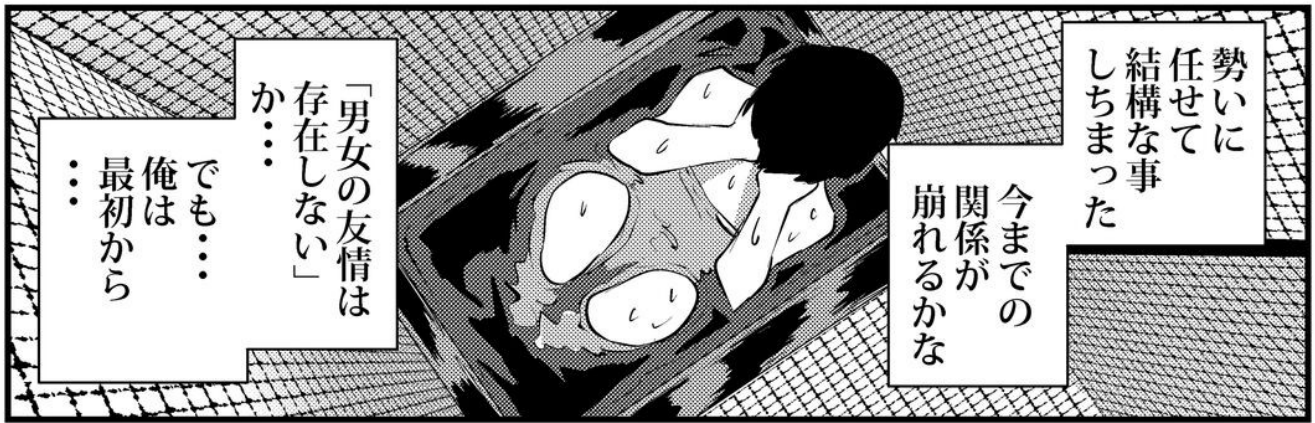
!!!











勢いに
任せて
結構な事
しまった

今までの
関係が
崩れるかな

「男女の友情は
存在しない」
か...

でも...
俺は
最初から



洗うとこ
同じだし

別に
良いだろ?



おい

...
なんだ?



一緒に
入っても
良いか?

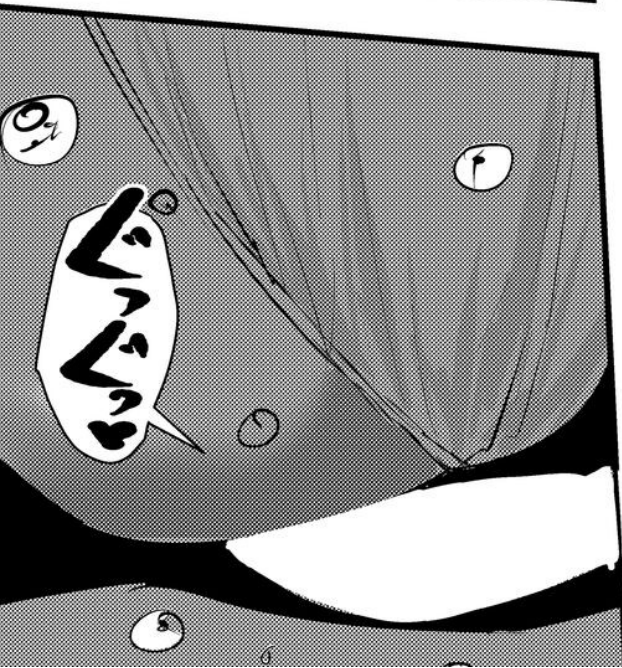
!!?



一緒に入るのは
良いが...



た...
谷間が...!!!



二人で入ると
流石に狭いな
半身浴に
なっちまう

なんだよ
タオル
巻いてるのに

いやこれは
生理現象で

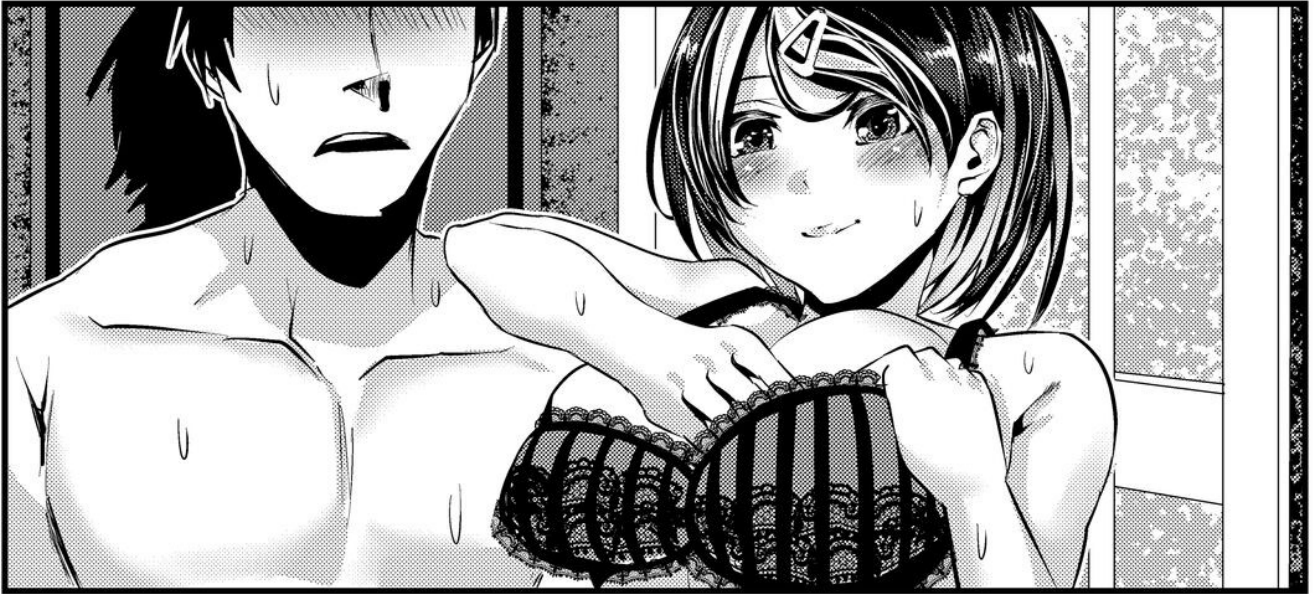
もう…
仕方ねえな

!!
自分から
…!?

またシたく
なったのか?

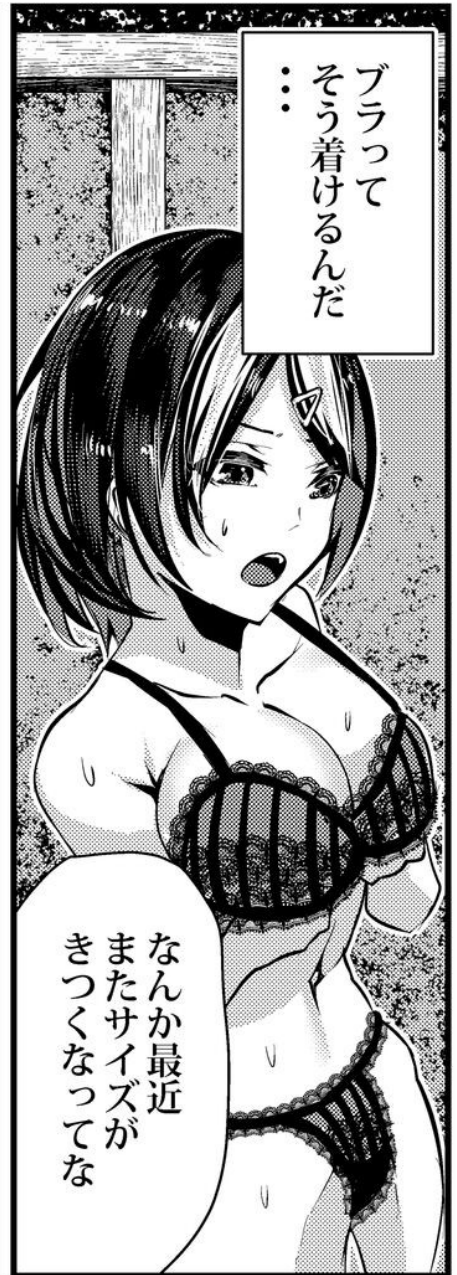






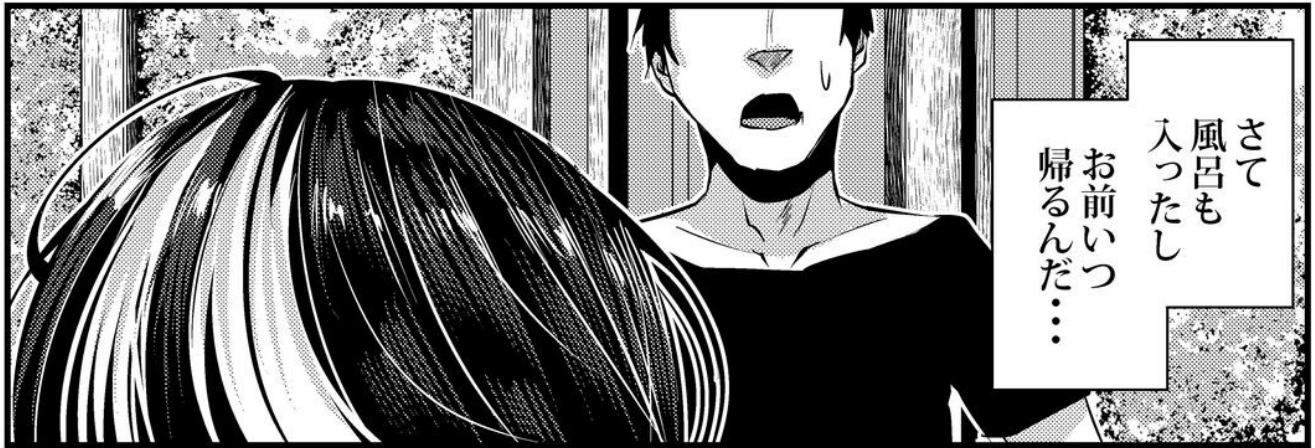
もしかして
今でも
ムラツとしたか？

黙秘権を
主張する！



ブラって
そう着けるんだ
...

なんか最近
またサイズが
きつくなってるな



さて
風呂も
入ったし
お前いつ
帰るんだ…



…って
何してんだ？

ゲーム
いつも
このボスで
手こずるん
だよな…

!!!

ノーブラ
Tシャツ一枚!!?
さっきのブラ
どこ行った!?











ちよつと
待った……!

激しすぎて……
もう限界……っ



バキエツ

バキエツ

オキエツ

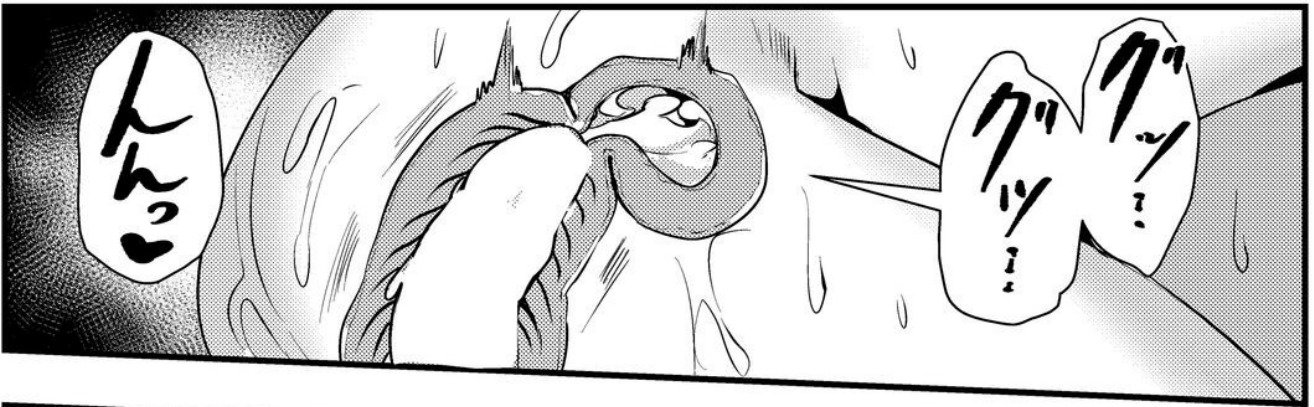
オキエツ



全部……
腔内で……
射精せ!!

悪友!
射精せ!
射精せ!








今日は
もういい

ていうか
興味が薄れた

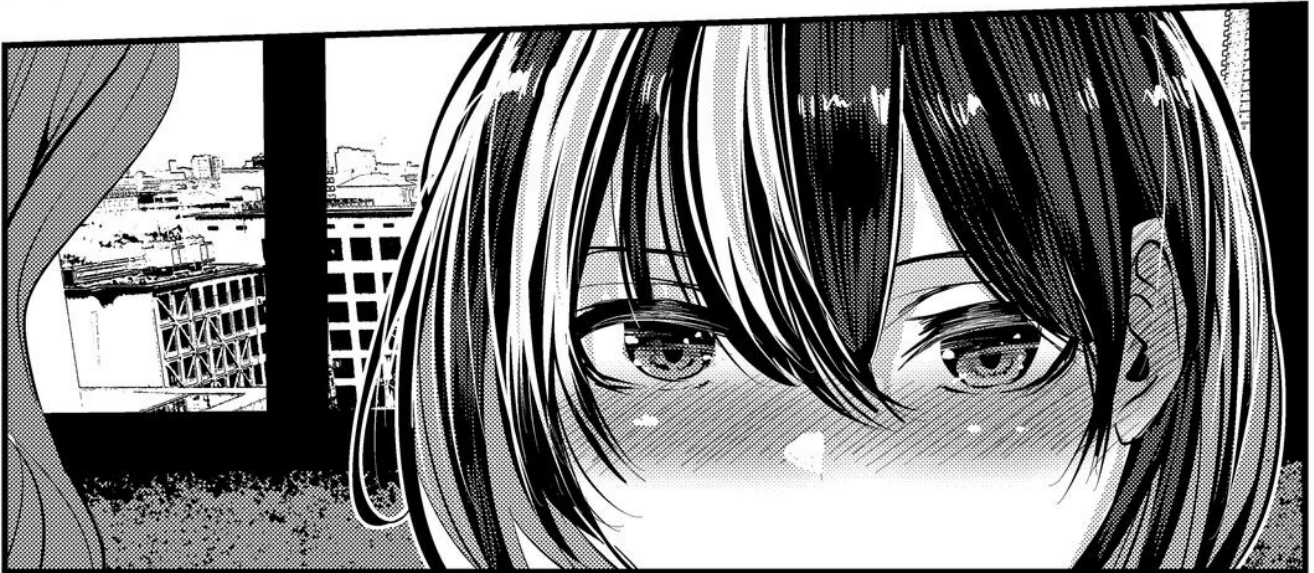
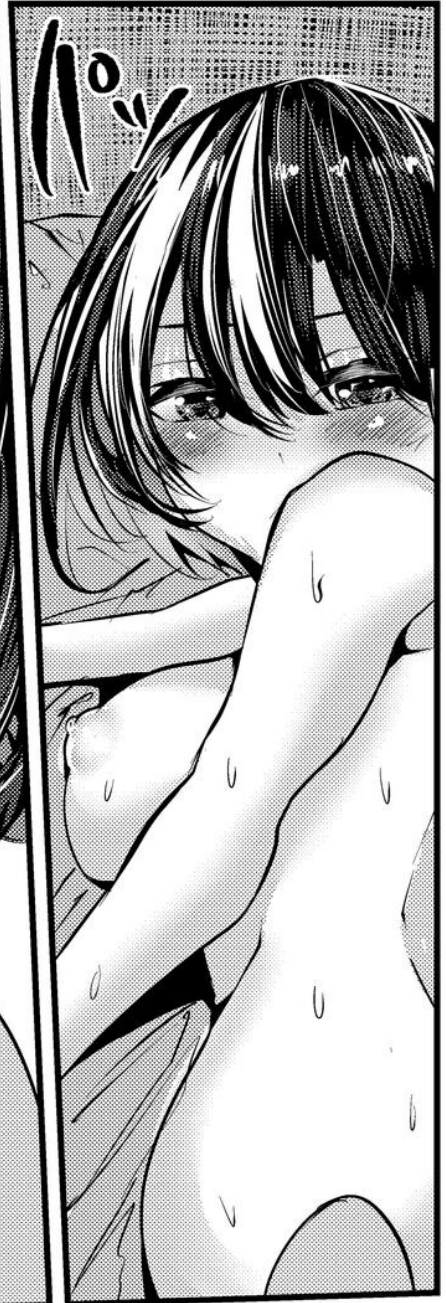


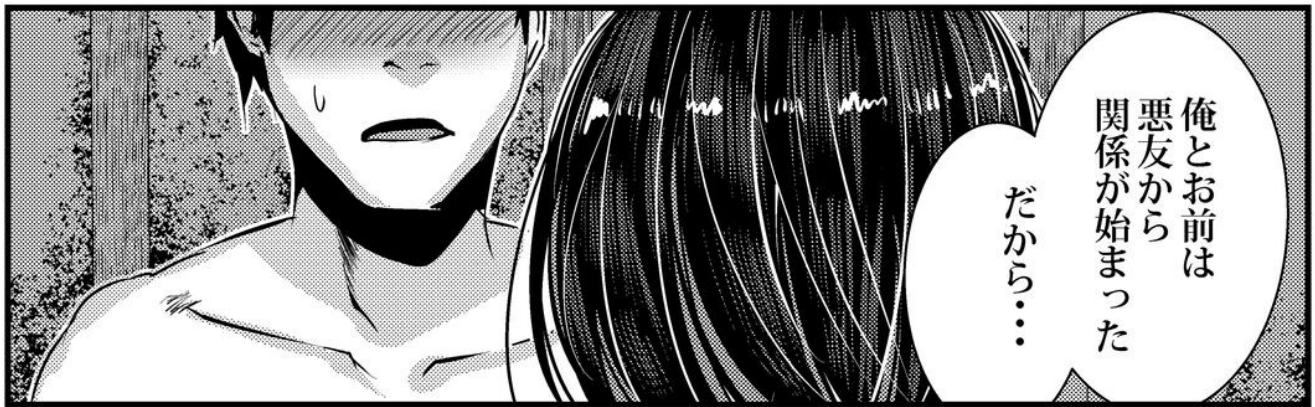
…なあ



そういえば
俺がお前の事を
好きだって
言ったけど

返事とか
聞かせ
てくれないのか？





俺とお前は
悪友から
関係が始まった

だから…



あと
二三日くらい

悪友として
毎日
エッチして

「男女の友情」が
恋愛になるまで
イチャイチャ
したい…

答え…
あと二三日くらい
経ったら
恋人になれるらしい

あとがき

まずはこの本を手にとって頂き、誠にありがとうございます！

今回はかなり好きなように描かせて頂いて、ページ数も合計60p程になりましたが、楽しんで頂けましたでしょうか…？

工夫した点は、主人公男の顔を極力描写しない事。
主人公視点でヒロインを描くこと。
展開によってヒロインの髪型が変わり、新鮮さを表現すること。

といった具合です。
如何でしょうか…？ちゃんと効果してますでしょうか…？

またこちらも、メイド物と同じように軽く続編でも描ければと思っています。
人気次第ですが…

それではまたどこかでお会いしましょう。

読んで頂いた全ての人に対して最大の感謝を。
ありがとうございました！

牡丹もちと

成人向け

18歳未満の方の閲覧、購入は禁止させていただきます。

サークル名：からじしぼたん
発行者：牡丹もちと
発行日：2022年12月31日
連絡先：botamotito-karazisibotan@yahoo.co.jp
印刷所：有限会社ねこのしっぽ



御世



サークルからじしぼたん
牡丹もちと